

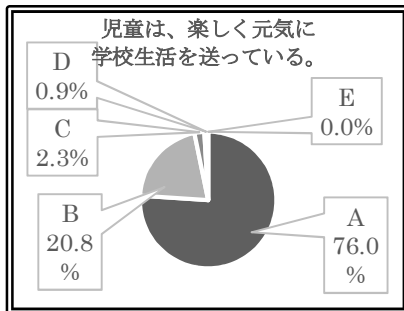
令和6年度 学校評価アンケート 集計結果について

ご多用の中、学校評価アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。579名中442名 76.3%の方から回答いただきました。

皆様からいただいたご意見をもとに、改善できることは改善し、次年度の教育課程の編成に活かしてまいります。(学校HPに、保護者・児童・教職員のアンケート結果を公表します。)

*各設問の内訳は、A：とてもそう思う B：思う C：あまり思わない D：思わない E：わからない です。
*各設問の左側の二重線の枠が**保護者**の集計、右側の点線の枠が**児童**の集計 (A・B評価の合計) です。

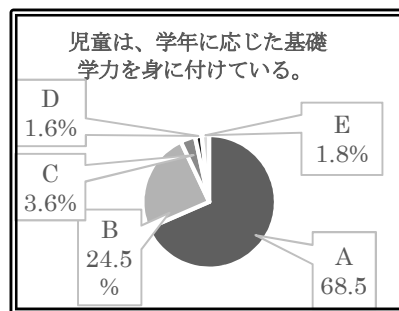
1 〈学校生活〉



毎日楽しく学校に通っていますか。

91%

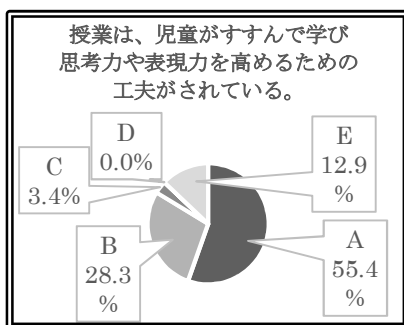
2 〈児童の学力〉



授業は、わかりやすいですか。

95%

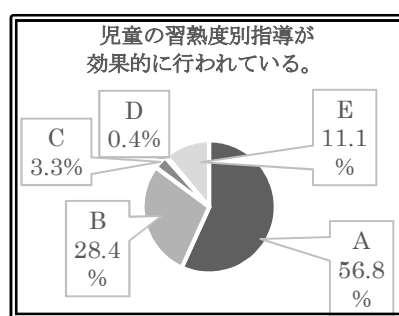
3 〈学習指導〉



授業で、すすんで自分の考えを発表していますか。

68%

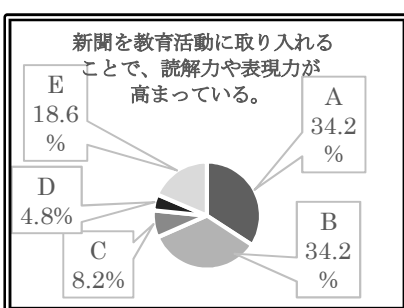
4 〈算数習熟度別指導〉(3年生以上)



算数の習熟度別の授業は、わかりやすいですか。

93.7%

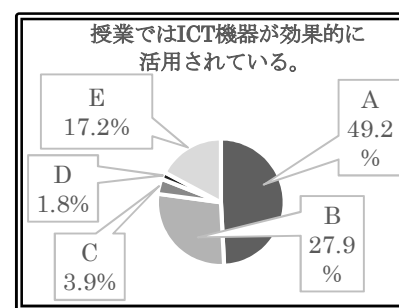
5 〈NIE〉



新聞を読むことは、学習や生活に役立っていますか。

71%

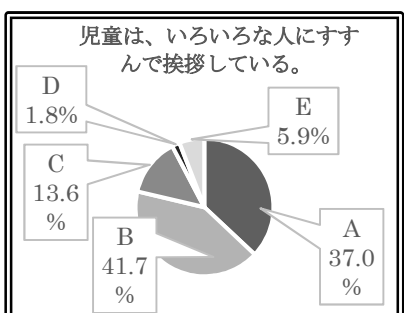
6 〈ICTの活用〉



きたコンをすすんで学習に活用していますか。

85%

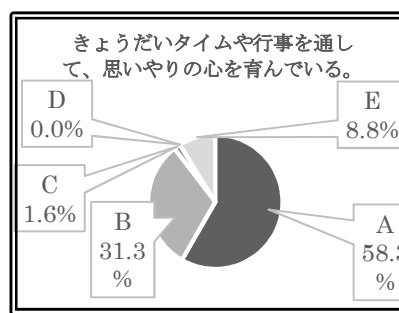
7 〈基本的な生活習慣〉



すすんであいさつをしていますか。

90%

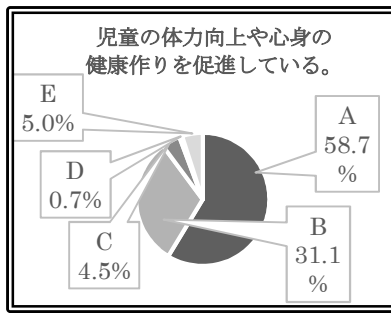
8 〈特別活動〉



いろいろな学年や学級の友達と仲良くしていますか。

93%

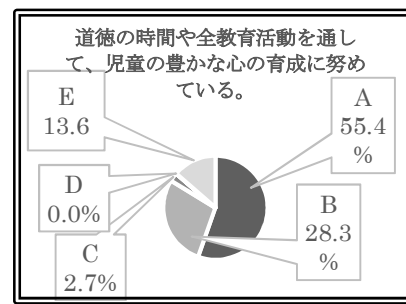
9 〈健康教育〉



運動や健康についてよく学んでいますか。

93%

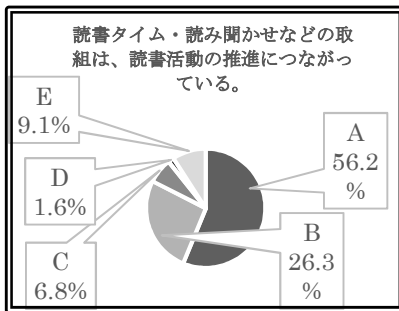
10 〈心の教育〉



道徳の時間にはいろいろなことを考えている。

92%

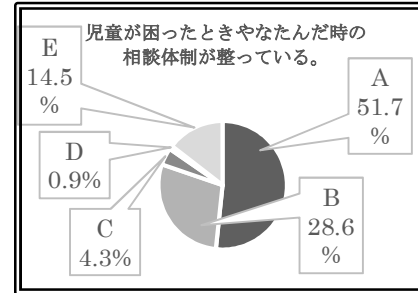
11 〈読書指導〉



すすんで読書をしていますか。

76%

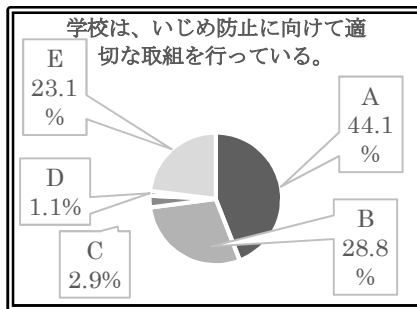
12 〈教育相談〉



学校には、困ったときや悩んだ時相談できる人がいますか。

87%

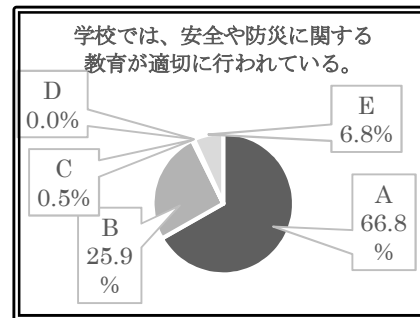
13 〈いじめへの取組〉



いじめは、いけないことだと学んでいますか。

97%

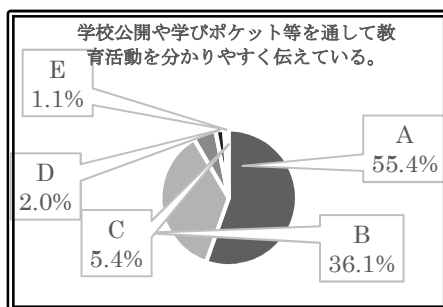
14 〈安全防災〉



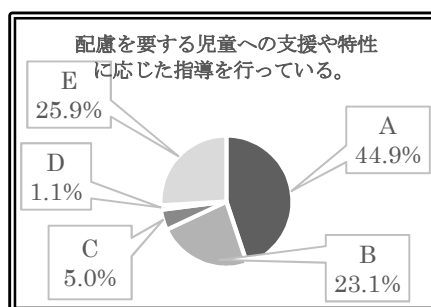
安全・防災について、よく学んでいますか。

91%

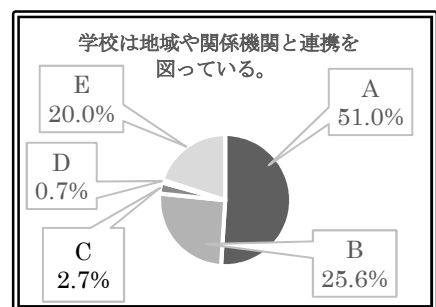
15 〈開かれた学校作り〉



16 〈特別支援教育〉



17 〈外部との連携〉



全般的に肯定的なA・Bの肯定的な回答が多く、概ねよい評価をいただいたと受けとめています。

保護者の回答につきまして、特に1〈学校生活〉2〈学年に応じた基礎学力〉14〈安全防災教育〉に関して高い評価をいただきました。7〈すすんであいさつ〉については、C評価が多かったです。元気にあいさつできる児童もいますが、消極的な児童も一定数います。5〈NIE〉6〈ICTの活用〉18〈特別支援教育〉については、「わからない」という割合が多かったです。学校公開の機会を増やし、様々な教科の教育活動を参観いただいたり、特別支援教育について情報を発信したりするよう努めてまいります。

児童の回答について、2〈授業がわかりやすい〉4〈算数習熟度別授業がわかりやすい〉8〈いろいろな学年や学級の友達と仲良くしている〉13〈いじめはいけないことだと学んでいる〉の設問の肯定的な回答が多かったです。一方、3〈すすんで自分の考えを発表している〉5〈新聞を学習や生活に役立てている〉11〈すすんで読書をしている〉の項目は、C・D評価が多かったです。あいさつとともに、すすんで自分の考えを発表できる児童の育成に力を入れ、新聞や読書で得た知識と学んだことを生活に結びつけながら、生きて働く力を身に付けさせていきます。

【保護者自由意見のまとめ（要望・意見に対する回答）】

アンケートの自由意見には、本校の教育活動を評価し、感謝と温かい励ましのお言葉もたくさんいただきました。誠にありがとうございました。

ここではいただいたご意見、ご要望のなかから全体に関わる内容について、現段階での学校としての見解と改善の方向をお示するとともに、引き続き今後の学校運営に生かしてまいります。

1 学校からの情報発信について

- ✓ まなびポケットからの配信が以前と比べると少なく、学校での様子が分かりづらい。
- ✓ 学校評価の設問を見ても答えづらいものが多かった。今後いっそうの情報発信をしてほしい。
- ✓ 配信メール、まなびポケット、紙のプリントなど連絡ツールが複数あり、確認が困難なため統一してほしい。
- ✓ 学校だよりの配信を早目にしてほしい。（月の予定、下校時刻を早く知りたい）
- ✓ 学校だよりを少なくとも前月末までに配信してほしい。

→ 学校現場においてもデジタル化が進んでおりますが、現段階では内容によって、紙面、まなびポケット、配信メールを使い分けて情報発信しております。今後は新たな配信システム「tetoru」の導入によりデジタル配信は一本化されます。（詳細は後日連絡予定）学校だよりの配信につきましては、今後は前月末といたします。学校からのお知らせや日々の教育活動を分かりやすく伝えられるよう、時期や方法等情報発信の工夫改善に努めてまいります。

2 学用品の持ち帰りについて

- ✓ 毎日の荷物が重い。特にきたコンは低学年の子供が持つ重量を超えている。
- ✓ 宿題やドリルといっしょにきたコンを毎日持ち帰るのは負担が大きい。
- ✓ 荷物が重い(月)(金)に重いキタコンを持ち帰らせているのはどうかと思う。

→ キタコンについては、学年に応じて使用時期や学習内容との関連を踏まえ、持ち帰り及び持参の日を教師が指定するようにしています。学用品が過重になることで、身体の健やかな発達に影響が生じることを防ぐよう引き続き十分に注意を払ってまいります。

3 行事について

- ✓ 色々な行事が行われていて有難いが、一つの行事自体は簡略化されている傾向で寂しい。
- ✓ 運動会が見にくくなった。昨年度までのように自分の子供が出る時だけ見に行く方法がよい。競技は基礎的な運動能力を伸ばすためのものにしてほしい。
- ✓ 赤白の勝敗については発表してほしい。相手を称える気持ちと、悔しくても気持ちを整理する練習が必要ではないか。
- ✓ 7月に行われた引き渡し訓練がとても暑く熱中症の危険を感じた。
- ✓ 土曜授業の公開数が減り、授業や子供の様子を知ることができなくなり残念。
- ✓ 平日の公開授業を増やしてほしい。

→ 運動会の開催方法につきましては、体育的行事のねらいと児童の学習状況を基に、昨今の気温・湿度の上昇や、児童数の増減、参観場所の確保等を踏まえ、種目内容や種目数を決定しています。今後も勝敗を受け入れる態度の育成も含め、児童が6年間を通して徒競走及び団体競技、表現運動を通して育むことのできる力を明らかにし、持続可能な行事の在り方について検討してまいります。

また、引き渡し訓練の実施時期についてはファミリー校である飛鳥中、西ヶ原小とも協議してまいります。土曜授業の公開日数については区の方針に則っておりますが、公開の方法や内容については改善を図ります。

4 給食について

- ✓ 給食の辛さを減らしてほしい。児童が食べやすい献立にしてほしい。
- ✓ 児童が「美味しい」とおかわりにつながるような、楽しい給食タイムにしてほしい。
- ✓ ランチョンマットは不要だと思う。

→ 適切な栄養の摂取による健康の保持増進や、食についての正しい理解及び望ましい食習慣等を養うことができるよう、児童や保護者の声にも耳を傾けながら献立を工夫してまいります。

5 健康・安全について

- ✓ 校門のオートロックを確実にしてほしい。
- ✓ 下校時に教員の見守りがあると安全が守られる。
- ✓ 学級によって下校時刻が15分ほど異なることがあるので一緒にしてほしい。
- ✓ 冬場もこまめな換気、加湿、シーズンでは引き続き蚊の対策をお願いしたい。
- ✓ 校門横壁の卒業制作や二宮尊徳の像が地震の際安全なのかが気になる。

→ 毎日の主事による点検及び定期的な教員による安全点検において、危険個所については適切に対処するとともに、今回ご指摘いただいた点は可能な限り改善を図ってまいります。下校時の安全確保については、現在教員の業務支援に入っているアシスタントの配置が可能か検討してまいります。

6 学習内容や方法について

- ✓ 習熟度別学習は低学年でも実施されているのかわからないので評価できない。
- ✓ 外部の専門家を講師に呼び、教員と親子で性や人権、防犯、金融を学べる機会があるとよい。
- ✓ 発言を強要することはやめてほしい。教員の児童に対する接し方を指導してほしい。
- ✓ 新聞を使った学習をしている割には、子供が課題の取り組み方を理解しておらず、親がいつしよにやらざるを得ない状況にある。
- ✓ 漢字をただ書き写すだけの宿題をやめてほしい。
- ✓ 高学年になるとやることも多くなるが、もう少し時間的に余裕をもたせてほしい。
- ✓ 塾に通っている人も多いと思うので、ドリルはある一定の基準を満たした場合にはなしにしてもよいと思う。

→ 算数における習熟度別学習は3年生から行っており、質問項目が分かりづらかったことについてお詫びいたします。指導方法や内容について疑問をもたれた場合には、まずは担任、学年までお問い合わせください。学校全体としても本校の児童の実態を基に、新たな教育課題も取り入れながらご家庭と連携して必要な資質・能力を育んでいきたいと思っております。

7 学校の相談体制について

- ✓ 教員との関係性はできているようだが、分からないことを聞いたり悩み事を相談したりするための環境の工夫がなされているのかは疑問に感じる。学校全体で児童一人一人に寄り添える工夫を共有し、実践してほしい。
- ✓ 学校外で起こったことなど、どう対応したらよいのか分からない。
- ✓ 教員が他の子供からの言いつけから、当人の意見を聞かずに頭ごなしに怒ることがあると聞いている。改善してほしい。
- ✓ 丁寧に話を聞いて、子供が解決に導いてもらえるという信頼がもてる相談先があると嬉しい。

→ ご指摘いただいた内容を真摯に受け止め、これまで以上に一人一人の児童の心に寄り添った指導を心掛けてまいります。また、スクールカウンセラーやスクールコーディネーターなど、心理や福祉の専門家とも連携し、様々な困難を抱える個に対応してまいります。

8 PTA活動について

- ✓ 加入は任意であり、個人の意思が尊重されること。非会員であることによる不利益は一切ないことなどを保護者と教員に周知してほしい。
- ✓ 「やりたい人がやる、できる人ができる時にやる」がいい。行事の手伝いやパトロールなど、優先順位をつけてシンプルな活動にすれば負担が減るのではないか。

→ 再度ご確認いただいた内容についてPTA会長及びPTA役員とも情報共有し、理解促進を図るとともに、活動内容の精査や方法についても検討してまいります。

9 その他

- ✓ 特別支援学級やえじそん（特別支援教室）について、子供たちや家庭の理解を深めたい。
- ✓ 図工で使用する画板は頻繁に使用するものでもなく、登下校での持ち運びが困難そうなことから購入する必要があるのか疑問。

→ 特別な配慮を要する児童をはじめ、すべての子供たちが共に学び合える教育活動が展開できるよう、引き続き交流授業や縦割り班活動等の機会を活用し、児童の理解を図ります。また、年度はじめの保護者会での説明をはじめ、定期的な文書や動画での配信、専門家を招聘しての講演会の設定など、啓発の機会を検討してまいります。
また、画板につきましては来年度より北区連合写生会が廃止されることから、各学年での使用頻度を検討し、購入については見直してまいります。